

TIME & ECOLOGY  
**AMANO**



# 第91期 事業報告書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

証券コード 6436

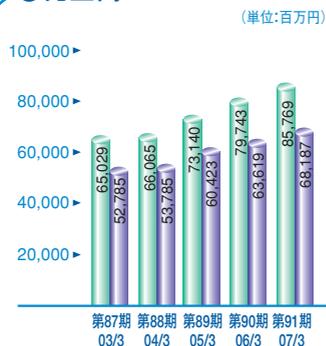
 **アマノ株式会社**

財務ハイライト(連結/単独) — 1  
 株主の皆様へ — 2  
 新中期経営計画 — 3  
 営業概況 — 4  
 主要指標の推移 — 8  
 TOPICS — 9  
 連結財務諸表 — 13  
 連結財務諸表作成のための  
 基本となる重要な事項 — 16  
 単独財務諸表 — 18  
 会社の概要、株式の状況 — 20  
 AMANOネットワーク — 21

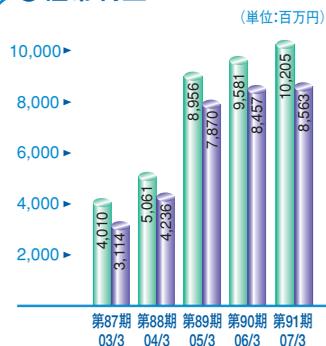
# 財務ハイライト (連結/単独)

連結 ■■■ 単独 ■■■■

## ● 売上高



## ● 経常利益



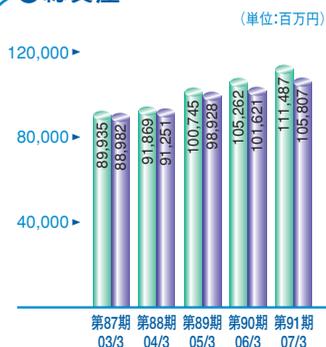
## ● 当期純利益



## ● 1株当たり当期純利益



## ● 総資産



## ● 株主資本



(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに「第91期事業報告書」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社は、創業以来、「人と時間」、「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の座標軸を顧客満足度におき、全社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方針としております。また、株主の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値（現在価値＋将来価値）の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

当社は、平成17年4月から「収益体質強化&持続的成長」を基本コンセプトに、新たな成長を目指して「攻めの経営」に転換し、第3次中期計画（3ヵ年）をスタートさせました。

この計画実現に向け、当社および国内外のグループ各社は連携を一層強化し、各事業における新たな市場の創出、広範なソリューションサービスの提供など営業体制の強化・拡充を推進するとともに、高付加価値製品・ソフトウェアの開発、コスト競争力強化などに注力してまいりました。

当期の連結業績につきましては、パーキングシステム・環境システムの両事業が国内外とも好調に推移したことにより、前期に引き続き増収、増益を確保することができました。

期末配当金につきましては、配当の基本方針に基づき、当期の業績を勘案し、前期の期末配当金13円から4円増額し、1株当たり17円とさせていただきます。

これにより、既に実施いたしました中間配当金13円とあわせ、年間配当金は1株当たり30円となります。

新年度の経営環境につきましては、堅調な海外経済と原油価格の落ち着きを背景に企業部門の好調さが持続し、息の長い景気拡大が続くものと思われれます。

このような経営環境の中で、当社およびグループ各社は、中期経営計画最終年度に当たる新年度の目標達成に向け経営計画を着実に実行し、収益力向上、企業価値向上のため、全社一丸となってチャレンジしてまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

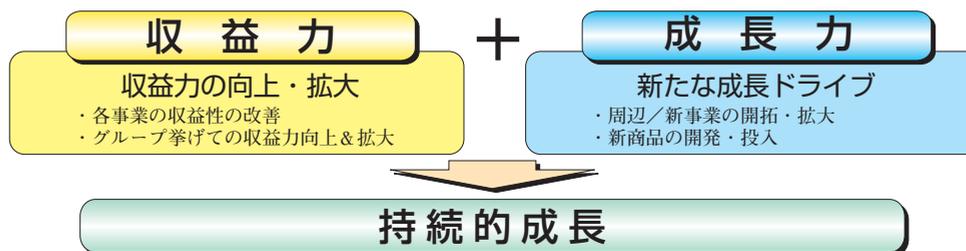


代表取締役社長

春田 薫

## 1. 基本方針

新中期経営計画は、「収益体質強化 & 持続的成長」を基本コンセプトに、新たな成長を目指して「攻めの経営」に転換し、最終年度の2008年3月期に売上高910億円、営業利益107億円の実現に向けて注力してまいります。この計画を実現するため、前中期経営戦略をベースにした以下の重点課題に取り組んでまいります。



当社およびグループ各社は、アマノグループ4つの不変の戦略を継続しながら、時代の変化に対応し、変り続けることを伝統としています。

- ①TIME & ECOLOGYの事業領域重視/本業強化
- ②得意な事業領域におけるニッチトップ
- ③不断のリストラ
- ④キャッシュ・フローをベースとした経営

この4つの基本戦略をもとに、当社は平成17年4月から3カ年の第3次中期経営計画をスタートさせました。

2年目に当たる当期の業績は、当期純利益については計画比99.4%と未達ではあったものの、計画をほぼ達成することができました。

その内容は次のとおりであります。

## 2. 数値計画

中長期的には、連結業績で以下の経営指標の実現をめざします。

- ①連結売上高営業利益率 13%以上
- ②ROE 8.5%
- ③1株当たり当期純利益 88円以上

### 連結経営目標

(単位：百万円)

	2007年3月期計画		2007年3月期実績		2008年3月期計画	
	金額	前年比%	金額	前年比%	金額	前年比%
売上高	84,000	5.3	85,769	7.6	91,000	6.1
営業利益	10,100	5.9	10,143	6.4	10,700	5.5
営業利益率	12.0%		11.8%		11.8%	
経常利益	10,000	4.4	10,205	6.5	10,800	5.8
当期純利益	6,000	1.4	5,961	0.8	6,300	5.7

## ●当期連結業績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の拡大や緩和的な金融環境を背景に、企業収益が継続的に改善し、設備投資も増加しました。また、緩やかな雇用者所得の伸びの下、個人消費も底堅く推移するなど、堅調に推移しております。

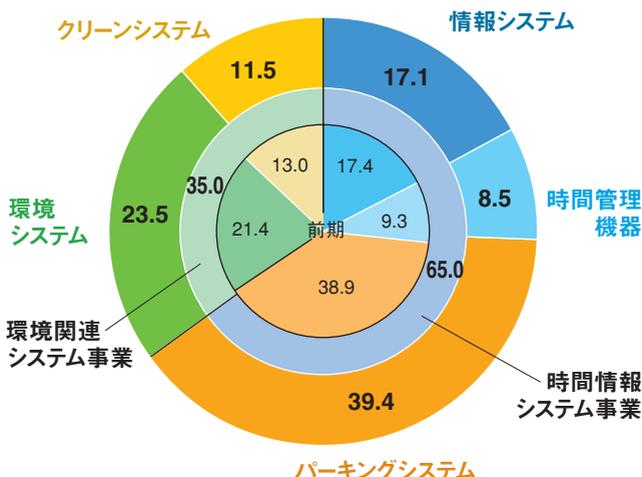
このような経営環境下において、当社は、平成17年4月からスタートした第3次中期経営計画に基づき、「収益体質強化&持続的成長」に向けてグループ各社一丸となって、顧客基盤の拡充、サービス事業の拡大など営業力強化と、固定費削減、生産性向上などによるコスト競争力強化に取り組んでまいりました。

連結の業績は、売上高857億69百万円（前期比7.6%増）、営業利益101億43百万円（同6.4%増）、経常利益102億5百万円（同6.5%増）となりました。また、当期純利益は、59億61百万円（同0.8%増）となり、増収・増益を確保することができました。

各事業部門別の概況は以下のとおりであります。

### 《事業部門別売上高構成比率》

(単位：%)



## 情報システム

就業・給与・人事・入室・食堂管理システム

当事業部門は、国内ではJ-SOX法による内部統制システムの構築が進められる中で、労働時間の適正把握、個人情報保護のコンプライアンス意識が定着し、堅調な需要が続いております。なかでもIT統制に基づく就業管理への業務改革が大手企業、中核自治体に広がる中で、当社はこの需要動向に対応し、大規模ソリューションの商品力・販売体制の強化、公共市場向け取り組みの強化、ICカード化による入室システムとの総合的なソリューション提案や新市場の創造に注力してまいりました。

当期の実績は、前期に比べ就業システム分野で4億53百万円増収（4.5%増）、入室システム分野で2億40百万円増収（21.1%増）となりました。品目別には、ハードウェアは6億89百万円増収（12.3%増）、ソフトウェアは2億55百万円減収（6.0%減）、メンテ・サプライは3億17百万円増収（12.1%増）となりました。ハードウェアの増収要因は、大企業向け、公共市場での大型受注が寄与しております。また、ソフトウェアの減収は、中小規模事業所層における更新需要が減少したことが主な要因です。

海外の実績は、欧州は増収、北米・アジアは減収となり、全体では10億76百万円（前期比6.6%減）となりました。

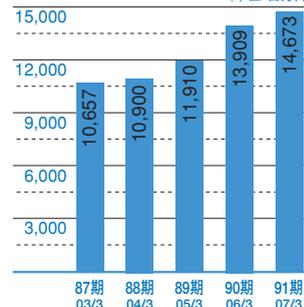
以上の結果、当事業部門の売上高は146億73百万円（前期比5.5%増）となりました。



入室情報ターミナル「AGX100F」

### ●売上高の推移

(単位:百万円)



## 時間情報システム事業

### 時間管理機器

タイムレコーダー・タイムスタンプ

当事業部門は、国内においては、タイムレコーダーの需要回復の兆しが見えないまま低調に推移しました。

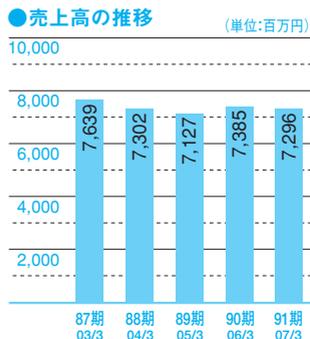
国内の実績は、パソコン用集計ソフト付タイムレコーダー「TimeP@CK」はラインナップ強化により堅調に実績を伸ばしましたが、全体では販売台数の減少により減収となり、輸出は、タイムレコーダー、タイムスタンプとも増収となりました。

海外の実績は、欧州・アジア地域は減収、北米はタイムスタンプの一括受注が寄与し増収、全体では32億44百万円（前期比2.3%増）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は72億96百万円（前期比1.2%減）となりました。



パソコン用集計ソフト付タイムレコーダー「TimeP@CK」



### パーキングシステム

駐車場・駐輪場管理機器・マネジメントサービス

当事業部門は、国内では平成18年6月の道路交通法改正に伴い、大都市圏を中心に小規模駐車場が増加し、加えて既存駐車場の稼働率も向上しました。また、駐輪場システムへの需要も堅調に推移し、市場の拡大が顕著になってまいりました。

当社は、このような市場環境の中、決済手段の多様化、自動二輪車受け入れなど多様化する需要に対応し、生産・開発・販売など一層の体制強化を図り、ネットワーク時代における駐車場経営の効率的・戦略的な総合提案を推進してまいりました。

当期の品目別実績は、前期に比べシステム機器は12億73百万円増収（8.5%増）、メンテ・サプライは1億63百万円減収（2.1%減）となりました。メンテ・サプライの減収は、前年上期「新札紙幣リーダー交換特需9億円」の影響によるメンテナンスの減収で、駐車券・サービス券等のサプライ品は、前述の駐車場数の増加と稼働率の向上により実績を伸ばしております。また、グループ会社アmanoマネジメントサービス株式会社による駐車場管理受託事業は、前期比25.1%増と好調に実績を伸ばしております。

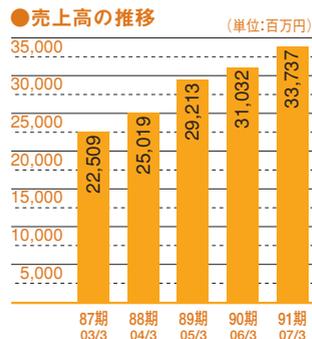
海外の実績は、北米・欧州・アジアの各地域とも順調に実績を伸ばしました。

北米は、ITS社（現、AUI社）の買収効果が寄与、アジア地域は、韓国・マレーシアが好調を維持、欧州も順調に実績を伸ばしたことにより、全体では、66億68百万円（前期比21.4%増）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は337億37百万円（前期比8.7%増）となりました。



バイク駐輪場システム集中精算機「FT-4800」



## 環境関連システム事業

## 環境システム

汎用集塵機・大型集塵装置・粉粒体空気輸送システム・  
高温有害ガス除去システム・脱臭システム・電解水生成装置

当事業部門は、国内製造業の好調な設備投資を背景に需要拡大が続きました。

当期の実績は、汎用機部門は、小型集塵機、オイルミスト・コレクターを中心に前期に比べ8億39百万円増収（13.1%増）、大型システムは、広範囲な製造業での新設・増設需要に加え、環境保全に対する法令順守への対応も背景となって、前期に比べ14億44百万円増収（25.4%増）と大きく実績を伸ばしました。メンテ・サプライは、安全・性能維持への認識が高まりサービス関連の売上が増加し、6億39百万円増収（18.6%増）となりました。

海外の実績は、中国、タイにおける日系企業からの大型システムの受注を中心に好調に推移し、10億71百万円（前期比25.9%増）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は201億71百万円（前期比18.5%増）と大幅増収となりました。

小型電気集塵式ミストコレクター  
「EM-8e」



## クリーンシステム

清掃機器・ドライケア清掃システム・清掃マネジメントサービス

当事業部門は、国内では大手コンビニエンスストアのセラミック床材への変更が進み、新店舗への小型バフイング機の導入が減少しました。また、大型店舗についても新規出店数が減少したことに加え、床材の多様化が進み、大型バフイング機も減少しました。一方、工場向け洗浄機・清掃機は、ファクトリー向け新製品投入が寄与し順調に実績を伸ばしております。

当期の実績は、清掃機器は前期に比べ2億54百万円減収（7.6%減）、メンテ・サプライは、清掃マネジメント事業が堅調に推移し1億70百万円増収（5.8%増）となりました。

海外の実績は、北米、アジア地域が減収となり、全体では29億3百万円（前期比9.2%減）となりました。

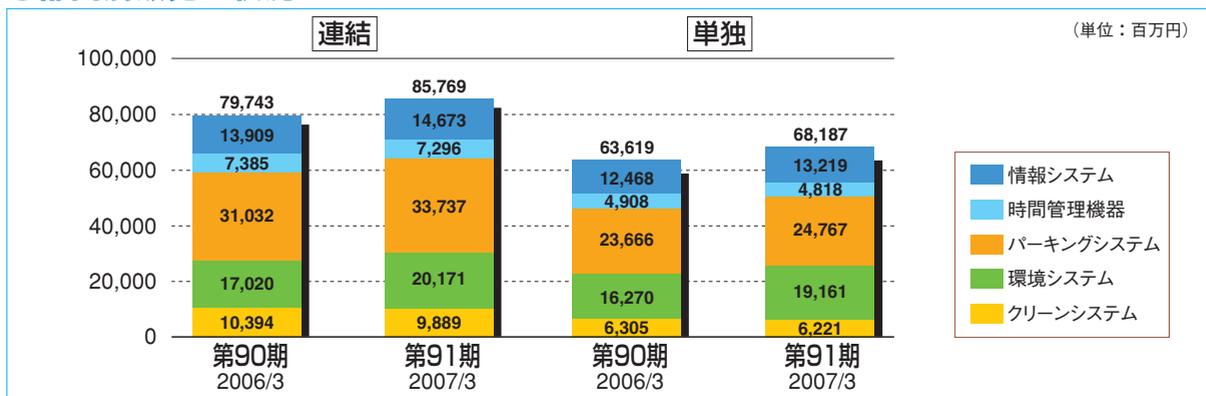
以上の結果、当事業部門の売上高は98億89百万円（前期比4.9%減）となりました。



工場向け耐油仕様自動床面洗浄機  
「SE-500GN」



## ●部門別販売の状況



区 分		第90期 2006年(平成18年)3月期		第91期 2007年(平成19年)3月期		増 減		
		金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	比 率 (%)	
時間情報システム事業	情報システム	連結	13,909	17.4	14,673	17.1	764	5.5
		単独	12,468	19.6	13,219	19.4	750	6.0
	時間管理機器	連結	7,385	9.3	7,296	8.5	△ 89	△ 1.2
		単独	4,908	7.7	4,818	7.1	△ 90	△ 1.8
	パーキングシステム	連結	31,032	38.9	33,737	39.4	2,705	8.7
		単独	23,666	37.2	24,767	36.3	1,100	4.7
小 計		連結	52,327	65.6	55,708	65.0	3,380	6.5
		単独	41,044	64.5	42,804	62.8	1,760	4.3
環境関連システム事業	環境システム	連結	17,020	21.4	20,171	23.5	3,150	18.5
		単独	16,270	25.6	19,161	28.1	2,890	17.8
	クリーンシステム	連結	10,394	13.0	9,889	11.5	△ 505	△ 4.9
		単独	6,305	9.9	6,221	9.1	△ 83	△ 1.3
小 計		連結	27,415	34.4	30,060	35.0	2,645	9.6
		単独	22,575	35.5	25,383	37.2	2,807	12.4
合 計		連結	79,743	100.0	85,769	100.0	6,025	7.6
		単独	63,619	100.0	68,187	100.0	4,567	7.2
内 輸出売上高		単独	2,250	3.5	2,987	4.4	737	32.8

(注) 金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

## ●連結決算

(単位：百万円)

	第77期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	第78期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第79期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	第90期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	第91期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	65,029	66,065	73,140	79,743	85,769
営業利益	4,088	5,298	9,074	9,537	10,143
経常利益	4,010	5,061	8,956	9,581	10,205
当期純利益	1,639	2,837	5,108	5,915	5,961
1株当たり当期純利益	19円77銭	34円85銭	62円95銭	72円89銭	74円29銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—	62円95銭	72円76銭	74円24銭
配当性向	—	—	—	—	40.4%
総資産	89,935	91,869	100,745	105,262	111,487
純資産(株主資本)	67,271	69,344	73,044	78,732	83,620 <sup>(※)</sup>

(※) 第91期より連結は少数株主持分を含めています。

## ●単独決算

(単位：百万円)

	第77期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	第78期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第79期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	第90期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	第91期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	52,785	53,785	60,423	63,619	68,187
営業利益	3,296	4,439	7,919	8,211	8,431
経常利益	3,114	4,236	7,870	8,457	8,563
当期純利益	1,000	2,505	4,425	5,246	5,003
1株当たり当期純利益	12円11銭	30円81銭	54円56銭	64円92銭	62円36銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—	54円56銭	64円80銭	62円31銭
配当性向	105.9%	49.5%	39.6%	39.7%	48.1%
総資産	88,982	91,251	98,928	101,621	105,807
純資産(株主資本)	69,439	71,728	74,748	78,973	81,788

## 事業別活動報告

## 情報システム事業

ICカード社員証でトータル・セキュリティ・システムを構築  
公共・自治体市場へ『アマノ情報システム』の導入拡大

今、ICカードが様々な場面で活用されています。アマノの『ICカード・トータル・セキュリティ・ソリューション』は、1枚のICカード社員証を活用してアマノが最も得意とする就業情報システムと連動した入室管理システムを中心に、ユーザーの要望に合わせて各種セキュリティ商品を総合提供し、オフィス・セキュリティの構築をサポートしています。また、公共・自治体市場へはICカード対応の専用情報ターミナル『AGX200』シリーズを開発し、ICカード職員証を活用して職員の勤怠管理を徹底する『電子出勤簿システム』から情報漏洩対策の『ドア・セキュリティシステム』まで全国の公共・自治体に総合提案、3都府県、7政令指定都市、東京12区、中核5市が既にアマノの情報システムを採用・運用中です。



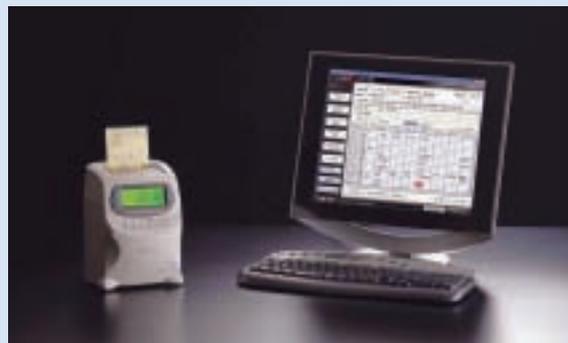
バリアフリーデザイン（点字）の  
情報ターミナル「AGX200」と  
ICカード社員証



ドア・セキュリティシステム  
入室管理ソフトTimePro-XG

PC接続式タイムレコーダーが管理レベルを上げて  
更に進化《TimeP@CK Professional》

小規模・少人数企業向けの『パソコン接続式タイムレコーダー・パッケージ（タイムカード集計ソフト付）』を開発・発売以来、業界スタンダードを確立した『TimeP@CK』が好評です。このたび、さらに使いやすく管理レベルを上げたシリーズ上位機種の『TimeP@CK Professional』（通称：ProP@CK）を発売し、売れ行き好調です。販売チャネルへの営業推進・販売サポート体制を強化し、専用インストラクターによる個別指導の無料体験セミナー『TimeP@CK USEum』の定期開催や、『TimeP@CK』店頭・常設デモなど、積極的な販売展開を継続させています。

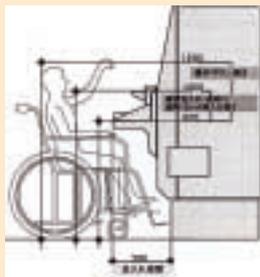


『TimeP@CK Professional』  
ProP@CK専用タイムレコーダー（左）と  
タイムカード集計ソフト「サッと計算EX」画面（右）

## パーキングシステム事業

### 誰もが利用しやすい駐車場づくりへの取組み ユニバーサルデザイン自動料金精算機 (UD事前精算機)

(財)東京都道路整備保全公社(本社:東京都新宿区、以下「公社」と実証的共同研究を行い、公社が作成した『駐車場ユニバーサルデザイン・ガイドライン』に対応した“ユニバーサルデザイン対応自動料金精算機(以下「UD事前精算機」)を開発しました。この「UD事前精算機」は、公社が運営する“練馬中央陸橋ユニバーサルデザイン駐車場”(所在地:東京都練馬区高松(環状8号線練馬中央陸橋高架下)収容台数45台)に設置し、2007年3月14日から利用開始となりました。アマノでは、これまでも数多くの駐車場システムを提案し、各種ICカードやDSRC<sup>(\*)</sup>など最新の技術を搭載した自動料金精算機を納入してきました。今後、公共駐車場および民間駐車場において、多様な利用者(特に高齢者やハンディキャップのある方)にも配慮した利用しやすい『UD事前精算機』として、多くの採用が期待されます。



左:UD:ユニバーサルデザイン(イメージ) 右:ユニバーサルデザイン対応自動料金精算機  
(\*) DSRC=Dedicated Short Range Communicationの略。「専用狭域通信」

### 優良駐車場認証制度に松戸駅西口地下駐車場が初代認定 アマノ・三菱重工業パーキング共同開発の @park駐車場情報検索サービス

アマノと三菱重工業パーキング(株)が共同開発した駐車場情報システム“@park(アットパーク)”を運用中の松戸駅西口地下駐車場様がこのたび(財)駐車場整備推進機構のグッドパーキング制度(優良駐車場認証制度)の初代認証駐車場に選出されました。松戸市は2005年3月に国土交通省道路局の『駐車場情報システムの高度化に関する実証実験地区』に採用されて、松戸駅西口地下駐車場ほか松戸駅周辺の7駐車場が提携して、駐車場情報システムの実証実験を開始。2007年には7駐車場で『松戸駅周辺地区駐車場情報システム運営連絡協議会』を設立しました。駐車場の管理運営は松戸市都市整備本部の都市整備課市街地整備担当室が行っています。松戸駅周辺の路上駐車を防止し、駐車場探しの迷走などで生じる交通渋滞を緩和させ、円滑な道路交通を実現させるために、普段使用している携帯電話・パソコン又はVICSカーナビから、駅周辺の7つの駐車場情報を“@park情報サービス”を利用することにより、リアルタイムで簡単に入手することができます。



松戸駅西口地下駐車場  
@parkホームページ <http://www.at-park-ne.jp/>

## 事業別活動報告

## 環境システム事業

### 環境負荷低減対応型集塵機 《サイクロン型粉体回収機／ライナーパック排出装置》

環境事業では、国内製造業での環境配慮対応型（環境負荷低減型）設備の投資増大など、市場の変化に対応した総合提案を行っています。アマノの環境負荷低減対応型粉体回収機を2機種紹介します。

■『エアロジョン』（IX/IP/IBシリーズ）は一般粉体から微粉のトナーまで、捕集粉体を吹き漏れなく回収できる省エネブロワー分離型の汎用粉体回収機です。サイクロン方式の採用でフィルターユニットは寿命を長期化でき、装置小型化と排出タンク大容量化を実現させました。作業者の健康と作業環境衛生を第一に考慮した“粉体排出時の飛散防止機構”により回収粉体を安全・簡単に排出させることができます。



サイクロン型粉体回収機  
『エアロジョン』

■『タッチフリー・パウダーコレクター』は、ホッパータイプの汎用集塵機に取り付けて、回収した粉体に触れることなく安全かつ簡単に排出させることができる粉体非接触式の回収機です。

専用フィルターパックを使用して、フィルターに直接触れることなく交換できるため、粉体の飛散を防止でき、より清潔なハンドリングが可能です。回収した粉体はライナーパックに密閉して排出させるために、重金属・農薬や有害化学物質などの粉体に最適です。

## クリーンシステム事業

### “コンパクト&軽量”設計でワンランク上の洗浄力を実現 小型自動床面洗浄機 クリーンバーニー『S-380』売れ行き好調

アマノはこれまでも多くの自動床面洗浄機を開発し、サービス分野やビルメンテナンス市場に供給してきました。近年は、潤滑油やマシン油で滑りやすくなった工場床を対象に、耐油仕様の自動床面洗浄機のラインナップを強化しています。2007年1月に発売したクリーンバーニー『S-380』は汚水タンクを外した本体重量が35kgと業界トップクラスの軽量化・小型化を実現させた小型自動床面洗浄機です。「今まで機械が入らなかった狭い通路、移動できない作業台下なども手軽に洗浄でき、汚水回収までできる“ポリッシャー&バキューム”」のコンセプトで開発を進め、汚水タンクを脱着可能なバケツ型にすることで排水作業が簡単になりました。移動や車への積載も楽々。前後スキージを採用することで、狭い場所も旋回せずに洗浄し、汚水が回収できます。当社1クラス上のマシンと同等の、強力な洗浄力と吸引力とを両備した新しい自動床面洗浄機『S-380』は発売以来、売れ行き好調です。



自動床面洗浄機クリーンバーニー  
『S-380』

## M&A TOPICS

### 米国駐車場管理運営ソフトウェアの開発・販売会社を買収

アマノは2007年5月7日付けで、米国における持株会社Amano USA Holdings, Inc.を通じて、米国中部ミネソタ州に本拠を置く北米No.1の駐車場管理運営ソフトウェアの開発・販売会社Terry McGann & Associates, Inc.社（以下「McGann社」）を買収することについて、McGann社の創業者であるTerrence G. McGann氏他株主4名と基本合意をいたしました。今回の買収により、アマノはMcGann社が持つ顧客基盤とソフトウェアをそのまま引き継ぎ、両社が持つノウハウの相乗効果により駐車場管理運営システムの最先端ソリューションを直接顧客に提供できることにより、米国での飛躍的な市場拡大が期待されます。

### オムロングループから 駐車/駐車場機器販売事業の営業権を譲受

アマノは2007年4月1日、オムロングループのオムロンフィールドエンジニアリング株式会社の子会社で、駐輪場事業で官公庁を中心に200箇所以上の納入実績を持ち、また駐車場事業においても同様に100箇所以上の納入実績を持つオムロンティー・エー・エス株式会社と「駐車場および駐輪場機器販売事業に関する営業権」の譲渡契約を取り交わしました。

### 米国のパーキング・情報・セキュリティ関連販売会社を買収

アマノは、米国においてパーキング、情報システム、アクセス・ソリューションを提供する連結子会社Amano Cincinnati, Inc.（以下「ACI社」）を通じて2006年9月29日に、米国東部コネチカット州に本拠を置くパーキング、情報システムおよびセキュリティ・システム関連の販売会社Industrial Time & Systems, Inc.社（以下「ITS社」）を買収しました。今回の買収によりアマノは各州のITS社の顧客基盤をそのまま引き継ぐことになり、メーカーであるACI社と販社ITS社が統合したことで、アマノが提供するパーキング・時間情報およびアクセス・コントロールの最先端ソリューションを直接顧客に提供でき、米国東部市場における直販体制強化で、さらに米国での市場拡大が期待されます。

## グループ企業近況

### Amano Korea Corporation（韓国） 駐車場ビジネスの事業領域拡大、管理受託サービス好調

Amano Korea Corporation（韓国）では現在、駐車場のシステム販売のみならず、駐車場管理受託サービスが好調で、駐車場ビジネスの事業領域を拡大させています。特に、駐車場無人管理システムの需要が多くなりつつあり、2006年度ベースで韓国における無人管理システムの90%以上をアマノが供給するなど業界第一位、駐車場無人管理システムのリーディングカンパニとして市場を牽引しています。また、駐車場管理受託サービス分野では、大学・病院を中心とした駐車場で、管理業務を受託する事例が増加しています。現在、16,000面（駐車スペース）以上の駐車場管理受託の実績があり、更に全国への拡大を目指して、ソウル市内にサービスサポートセンターを出店。他に大田（DaeJeon）、釜山（Busan）、仁川（Inchon）の各市に営業拠点を拡大し、販売組織の強化を図っています。



韓国最大の「ソウルアサン病院」

### 環境関連商品の総合点検サポート・アフターサービス 強化で顧客満足向上 《アマノメンテナンスエンジニアリング株式会社》 《株式会社環境衛生研究所》

アマノメンテナンスエンジニアリング(株)は、集塵装置フィルターなどサプライ商品販売および保守契約による総合点検サポート等のアフターサービスを充実させています。また、(株)環境衛生研究所との連携をより強化し、作業環境測定、有害物質の測定、定性/定量分析や集塵装置に関わる調査・分析・コンサルティングなどを積極的に提案し、顧客の信頼を得ています。なお、環境衛生研究所は昨年4月より都田事業所と共に環境マネジメントシステムを構築。今年4月に『ISO14001:2004』の認証を取得しました。



株式会社環境衛生研究所都田Lab.

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	第 91 期	第 90 期
	(平成19年3月31日現在)	(平成18年3月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>69,770</b>	<b>65,105</b>
現金及び預金	33,690	34,402
受取手形及び売掛金	24,635	20,914
有価証券	500	10
たな卸資産	8,458	7,626
繰延税金資産	1,254	1,262
その他	1,336	1,004
貸倒引当金	△ 105	△ 116
<b>固定資産</b>	<b>41,716</b>	<b>40,157</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>21,552</b>	<b>20,995</b>
建物及び構築物	11,228	11,351
機械装置及び運搬具	1,670	1,561
工具器具及び備品	2,093	1,666
土地	5,825	5,769
建設仮勘定	734	646
<b>無形固定資産</b>	<b>6,409</b>	<b>4,676</b>
営業権	—	1,656
のれん	1,834	—
ソフトウェア	2,830	1,942
ソフトウェア仮勘定	1,685	1,019
その他	59	58
<b>投資その他の資産</b>	<b>13,754</b>	<b>14,484</b>
投資有価証券	6,026	6,850
長期貸付金	562	638
破産債権、再生債権、更生債権その他これらに準ずる債権	410	255
差入保証金	958	935
繰延税金資産	1,900	1,769
長期預金	1,500	1,500
その他	2,817	2,801
貸倒引当金	△ 422	△ 267
<b>資産合計</b>	<b>111,487</b>	<b>105,262</b>

負債の部	第 91 期	第 90 期
	(平成19年3月31日現在)	(平成18年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>22,043</b>	<b>20,323</b>
支払手形及び買掛金	11,485	9,637
短期借入金	434	467
未払法人税等	2,270	2,146
賞与引当金	1,903	1,974
役員賞与引当金	47	—
その他	5,901	6,097
<b>固定負債</b>	<b>5,823</b>	<b>5,721</b>
長期借入金	688	692
退職給付引当金	4,269	4,251
役員退職慰労引当金	738	649
繰延税金負債	61	70
その他	65	56
<b>負債合計</b>	<b>27,866</b>	<b>26,044</b>
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	—	485
<b>少数株主持分合計</b>	<b>—</b>	<b>485</b>
<b>資本の部</b>		
資本金	—	18,239
資本剰余金	—	19,438
利益剰余金	—	42,036
その他有価証券評価差額金	—	798
為替換算調整勘定	—	△ 830
自己株式	—	△ 950
<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>78,732</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>—</b>	<b>105,262</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>82,826</b>	—
資本金	18,239	—
資本剰余金	19,521	—
利益剰余金	45,860	—
自己株式	△ 794	—
<b>評価・換算差額等</b>	<b>157</b>	—
その他有価証券評価差額金	514	—
為替換算調整勘定	△ 356	—
<b>少数株主持分</b>	<b>636</b>	—
<b>純資産合計</b>	<b>83,620</b>	—
<b>負債純資産合計</b>	<b>111,487</b>	—

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
29,926百万円	28,619百万円

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第91期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	第90期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	85,769	79,743
売上原価	47,920	42,943
売上総利益	37,848	36,800
販売費及び一般管理費	27,705	27,262
営業利益	10,143	9,537
営業外収益	631	611
受取利息及び受取配当金	217	136
その他	414	475
営業外費用	569	567
支払利息	61	60
営業権償却	—	320
のれん償却	320	—
その他	188	187
経常利益	10,205	9,581
特別利益	97	422
固定資産売却益	61	332
投資有価証券売却益	21	55
その他	14	35
特別損失	76	302
固定資産除却損	45	67
固定資産売却損	—	20
連結子会社株式売却損	24	—
ゴルフ会員権評価損	6	—
工場移転費用	—	212
税金等調整前当期純利益	10,226	9,702
法人税、住民税及び事業税	4,049	3,845
法人税等調整額	53	△ 196
少数株主利益	162	137
当期純利益	5,961	5,915

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー 計算書の要旨

(単位：百万円)

	第91期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	第90期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	7,101	6,048
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 8,834	△ 4,279
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,016	△ 2,133
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 24	△ 184
現金及び現金同等物の 減少額	△ 3,773	△ 550
現金及び現金同等物の 期首残高	34,402	34,900
連結子会社と非連結子会社との合併に よる現金及び現金同等物の増加額	61	—
新規連結による現金及び 現金同等物の増加額	—	52
現金及び現金同等物の 期末残高	30,690	34,402

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2.現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

当連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
現金及び現金勘定	34,402 百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	—
現金及び現金同等物	34,402
営業の譲受けにより増加した資産及び負債の内訳	
流動資産	528 百万円
固定資産	520
資産合計	1,048
流動負債	274

## 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

当連結会計年度 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	18,239	19,438	42,036	△ 950	78,765	798	△ 830	△ 32	485	79,217
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 2,084		△ 2,084					△ 2,084
利益処分による役員賞与			△ 92		△ 92					△ 92
連結子会社と非連結子会社との 合併による利益剰余金増加			39		39					39
当期純利益			5,961		5,961					5,961
自己株式の取得				△ 8	△ 8					△ 8
自己株式の処分		82		163	246					246
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の 変動額(純額)						△ 284	474	190	151	341
連結会計年度中の変動額合計	—	82	3,823	155	4,061	△ 284	474	190	151	4,402
平成19年3月31日残高	18,239	19,521	45,860	△ 794	82,826	514	△ 356	157	636	83,620

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 1. 連結の範囲に関する事項

- (イ) 連結子会社の数 24社  
 主要な連結子会社名 アmano USA ホールディングス Inc.  
 アmano シンシナティ Inc.  
 アmano バイオニア エクリプス Corp.  
 アmano USA Inc.  
 アmano エレクトロニクス ヨーロッパ N.V.  
 アmano マレーシア SDN. BHD.  
 アmano クリーンテック (M) SDN. BHD.  
 アmano タイム&エアースィンガポール PTE. LTD.  
 安満能国際貿易 (上海) 有限公司  
 アmano コーリア Corp.  
 (株)環境衛生研究所  
 アmano マネジメント サービス (株)  
 アmano メンテナンス エンジニアリング (株)  
 アmano ビジネス ソリューションズ (株)  
 アmano 武蔵電機 (株) 他
- なお、アmano USA Inc. は、買取により、当連結会計年度より連結子会社に含めることとし、アmano アジアマネジメント PTE. LTD. は、清算したことにより当連結会計年度より連結子会社から除いております。ただし、清算までの損益は含めております。
- (ロ) 非連結子会社の名称等 安満能軟件工程 (上海) 有限公司  
 アmano エコ・テクノロジ (株)  
 エー・エス・イー R&D ヨーロッパ N.V.  
 アmano システムズ九州 (株)  
 アmano タイムビジネス (株)  
 アmano タイム&パーキング スペイン SA  
 アットパーク コリア CO., LTD.  
 以上7社

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益及び利益剰余金 (持分に見合う額) 等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

## 2. 持分法の適用に関する事項

- (イ) 持分法を適用した非連結子会社及び関連会社の数……0社  
 (ロ) 持分法非適用関連会社の名称……上海奇安機電設備有限公司  
 (ハ) 持分法を適用していない非連結子会社 (7社) 及び関連会社 (1社) については、いずれも当期純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、持分法の適用から除外しております。

## 3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

海外子会社の決算日は、12月31日であります。また、連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

## 4. 会計処理基準に関する事項

- (イ) 重要な資産の評価基準及び評価方法
- ① 有価証券  
 その他有価証券 時価のあるもの……決算期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)  
 “ 時価のないもの……移動平均法による原価法
- ② デリバティブ ……時価法  
 ③ たな卸資産 ……主として総平均法による原価法

### (ロ) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産  
 定率法 (ただし、平成10年4月1日以降取得した建物 (建物附属設備を除く) については定額法) を採用しております。  
 なお、耐用年数及び残存価額については、当社及び国内連結子会社は法人税法に規定する方法と同一の基準により、また、在外連結子会社は所在地国の会計基準の規定に基づく方法によっております。
- ② 無形固定資産  
 定額法を採用しております。  
 なお、耐用年数については、当社及び国内連結子会社は法人税法に規定する方法と同一の基準により、また、在外連結子会社は所在地国の会計基準の規定に基づく方法によっております。  
 ただし、当社の市場販売目的のソフトウェアについては、見込販売可能期間 (3年) に基づく定額法、当社及び国内連結子会社の自社利用目的のソフトウェアについては、社内における利用可能期間 (5年) に基づく定額法によっております。  
 また、米国連結子会社ののれんについては、米国財務会計基準審議会基準書第142号「のれん及びその他の無形固定資産」を適用しております。

### (ハ) 重要な引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金  
 売掛金、貸付金等の債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金  
 従業員の賞与の支出に備えるため、その期に帰属する支給見込額を計上しております。
- ③ 役員賞与引当金  
 役員の賞与の支出に備えるため、その期に帰属する支給見込額を計上しております。
- ④ 退職給付引当金  
 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。  
 数理計算上の差異については、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数 (10年) による定額法

により按分した額をそれぞれ発生の日連結会計年度から費用処理することとしております。

#### ⑤役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき、連結会計年度末支給額の100%を計上しております。

#### (二) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

なお、在外連結子会社の資産及び負債並びに収益及び費用は、当該子会社決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び少数株主持分に含めております。

#### (ホ) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

#### (へ) その他連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

## 5. 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項

連結子会社の資産及び負債の評価方法は、部分時価評価法によっております。

## 6. のれんの償却に関する事項

のれん及び負ののれんについては、その金額が僅少であるため、発生事業年度において全部償却しております。

## 7. 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなります。

## 会計方針の変更

### 役員賞与に関する会計基準

当連結会計年度から「役員賞与に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年11月29日 企業会計基準第4号)を適用しております。

この結果、従来の方法に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益が、47百万円減少しております。

### 貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等

当連結会計年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用第8号)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

なお、従来「資本の部」の合計に相当する金額は82,984百万円であります。

## 後発事象

### 株式取得による会社の買収

当社は、平成19年5月7日付けにて、米国における持株会社アマノUSAホールディングスInc.を通じて、米国中部ミネソタ州に本拠を置く駐車場管理運営ソフトウェアの開発・販売会社Terry McGann & Associates, Inc.社を買収することについて、同社の創業者であるTerrence G. McGann氏他株主4名と基本合意いたしました。

#### (1) 買収の理由

当社グループは、北米市場における駐車場事業の今後一層の業容の拡大・発展をめざす上で、駐車場管理運営に関わるソフトウェア開発及び顧客基盤の拡大が課題でありました。

今回、Terry McGann & Associates, Inc.社を買収することで、同社の持つソフトウェアと優良な顧客基盤をそのまま引継ぎ、両社が持つノウハウの相乗効果により駐車場管理運営システムの最先端ソリューションを直接顧客に提供できることにより、米国における飛躍的な市場拡大が期待できるものと判断するに至りました。

#### (2) 買収する会社の概要

- ①社名：Terry McGann & Associates, Inc.
- ②本社所在地：651 Taft Street NE Minneapolis, MN 55413
- ③代表：Terrence G. McGann, President & CEO
- ④設立：1982年2月2日
- ⑤資本金：US\$ 1万 (約119万円) [2006年12月31日現在]
- ⑥売上高：US\$ 3,470万 (約41億3400万円) [2006年12月期実績]
- ⑦主な事業内容：駐車場管理運営ソフトウェアの開発・販売

#### (3) 買収の内容

- ①取得株式数：10,000株 (被買収会社の発行済株式の全部)
- ②取得価額：デューデリジェンス終了後に確定する予定

#### (4) 支払資金の調達及び支払方法

当社自己資金のアマノUSAホールディングスInc.への増資資金による。

#### (5) 日程

- ・平成19年5月7日 基本合意書締結
- ・平成19年5月 デューデリジェンス期間
- ・平成19年6月末日 (予定) 株式売買契約書締結及び買収完了

#### (6) 今後の見通し

現在、当事者間において買収に関わる契約書を締結し基本的な合意に達した段階であり、今後の当社グループ業績への影響額につきましては、現時点では確定していません。

## 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	第91期	第90期
	(平成19年3月31日現在)	(平成18年3月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>56,718</b>	<b>54,211</b>
現金及び預金	27,457	29,125
受取手形	5,353	5,060
売掛金	15,845	12,942
有価証券	500	10
商品及び製品	2,891	3,271
仕掛品	1,004	636
原材料及び貯蔵品	2,140	1,585
繰延税金資産	988	1,023
その他	579	610
貸倒引当金	△ 42	△ 55
<b>固定資産</b>	<b>49,089</b>	<b>47,409</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>18,120</b>	<b>17,981</b>
建物	9,489	9,596
構築物	310	312
機械及び装置	1,258	1,209
車両運搬具	7	7
工具器具備品	1,072	997
土地	5,320	5,260
建設仮勘定	661	597
<b>無形固定資産</b>	<b>4,537</b>	<b>3,299</b>
営業権	—	320
ソフトウェア	2,798	1,906
ソフトウェア仮勘定	1,685	1,019
その他	53	53
<b>投資その他の資産</b>	<b>26,430</b>	<b>26,128</b>
投資有価証券	5,596	6,474
関係会社株式	13,350	11,864
関係会社出資金	82	49
関係会社長期貸付金	470	849
破産債権、再生債権、更生債権その他これらに準ずる債権	229	255
差入保証金	821	818
繰延税金資産	2,076	1,965
長期預金	1,500	1,500
保険積立金	2,417	2,470
その他	176	150
貸倒引当金	△ 289	△ 269
<b>資産合計</b>	<b>105,807</b>	<b>101,621</b>

負債の部	第91期	第90期
	(平成19年3月31日現在)	(平成18年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>19,108</b>	<b>17,817</b>
支払手形	240	158
買掛金	10,509	8,920
未払金	262	360
未払費用	1,653	1,608
未払法人税等	1,886	1,848
未払消費税等	122	304
預り金	268	270
従業員預り金	1,451	1,393
賞与引当金	1,706	1,817
役員賞与引当金	29	—
その他	978	1,134
<b>固定負債</b>	<b>4,910</b>	<b>4,830</b>
退職給付引当金	4,207	4,198
役員退職慰労引当金	703	631
<b>負債合計</b>	<b>24,019</b>	<b>22,647</b>
<b>資本の部</b>		
資本金	—	18,239
資本剰余金	—	19,438
資本準備金	—	19,292
その他資本剰余金	—	145
<b>利益剰余金</b>	<b>—</b>	<b>41,446</b>
利益準備金	—	2,385
任意積立金	—	10,915
建物圧縮積立金	—	34
別途積立金	—	10,881
当期末処分利益	—	28,145
<b>株式等評価差額金</b>	<b>—</b>	<b>798</b>
その他有価証券評価差額金	—	798
自己株式	—	△ 950
<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>78,973</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>—</b>	<b>101,621</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	81,274	—
資本金	18,239	—
資本剰余金	19,520	—
資本準備金	19,292	—
その他資本剰余金	228	—
<b>利益剰余金</b>	<b>44,307</b>	<b>—</b>
利益準備金	2,385	—
その他利益剰余金	41,922	—
建物圧縮積立金	32	—
別途積立金	10,881	—
繰越利益剰余金	31,009	—
自己株式	△ 794	—
評価・換算差額等	514	—
その他有価証券評価差額金	514	—
<b>純資産合計</b>	<b>81,788</b>	<b>—</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>105,807</b>	<b>—</b>

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

当期	前期
(平成19年3月31日現在)	(平成18年3月31日現在)
26,673 百万円	25,646 百万円

## 損益計算書

(単位：百万円)

	第91期	第90期
	(平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	(平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	68,187	63,619
売上原価	39,414	34,887
売上総利益	28,773	28,732
販売費及び一般管理費	20,341	20,520
営業利益	8,431	8,211
営業外収益	642	755
受取利息及び配当金	237	318
その他	404	436
営業外費用	510	509
支払利息	15	14
営業権償却	—	320
のれん償却	320	—
その他	175	174
経常利益	8,563	8,457
特別利益	75	79
投資有価証券売却益	21	55
関係会社株式売却益	39	—
その他	14	24
特別損失	50	86
固定資産除却損	43	64
固定資産売却損	—	20
投資有価証券売却損	—	1
ゴルフ会員権評価損	6	—
税引前当期純利益	8,589	8,450
法人税、住民税及び事業税	3,466	3,281
法人税等調整額	119	△ 76
当期純利益	5,003	5,246
前期繰越利益	—	23,938
中間配当額	—	1,039
当期末処分利益	—	28,145

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		評価・換算差額等	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金		
平成18年3月31日残高	18,239	19,292	145	19,438	2,385	34	10,881
事業年度中の変動額							
建物圧縮積立金の取崩						△ 2	
剰余金の配当							
利益処分による役員賞与							
当期純利益							
自己株式の取得							
自己株式の処分			82	82			
株主資本以外の項目の 事業年度中の 変動額(純額)							
事業年度中の変動額合計	—	—	82	82	—	△ 2	—
平成19年3月31日残高	18,239	19,292	228	19,520	2,385	32	10,881

	株主資本					純資産合計	
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
平成18年3月31日残高	28,145	41,446	△ 950	78,174	798	798	78,973
事業年度中の変動額							
建物圧縮積立金の取崩	2	—		—			—
剰余金の配当	△ 2,084	△ 2,084		△ 2,084			△ 2,084
利益処分による役員賞与	△ 58	△ 58		△ 58			△ 58
当期純利益	5,003	5,003		5,003			5,003
自己株式の取得			△ 8	△ 8			△ 8
自己株式の処分			163	246			246
株主資本以外の項目の 事業年度中の 変動額(純額)					△ 284	△ 284	△ 284
事業年度中の変動額合計	2,863	2,861	155	3,099	△ 284	△ 284	2,815
平成19年3月31日残高	31,009	44,307	△ 794	81,274	514	514	81,788

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# AMANOネットワーク

国内地域営業本部	
● 東北・北海道営業本部	● 中部営業本部
● 関東営業本部	● 近畿営業本部
● 東京営業本部	● 中国・四国営業本部
● 信越営業部	● 九州営業本部
● 北陸営業部	● 地域営業本部所在地
● 神奈川・静岡営業本部	● 支店・営業所所在地



● 札幌支店



● 仙台支店



● 大宮支店



● アミノ武蔵電機株式会社



● 本社・横浜事業所  
● アミノ・エコ・テクノロジー株式会社  
● 株式会社アミノエージェンシー



● 津久井事業所



● 本社ショールーム



アミノギャラクシービル  
● アミノビジネスソリューションズ株式会社  
● 神奈川支店



アミノ第2ギャラクシービル  
● アミノマネジメントサービス株式会社  
● アミノメンテナンスエンジニアリング株式会社  
● アミノタイムビジネス株式会社



● 広島支店



● 岡山支店



● 大阪支店  
● アミノビジネスソリューションズ(株)  
近畿センター



● 名古屋支店

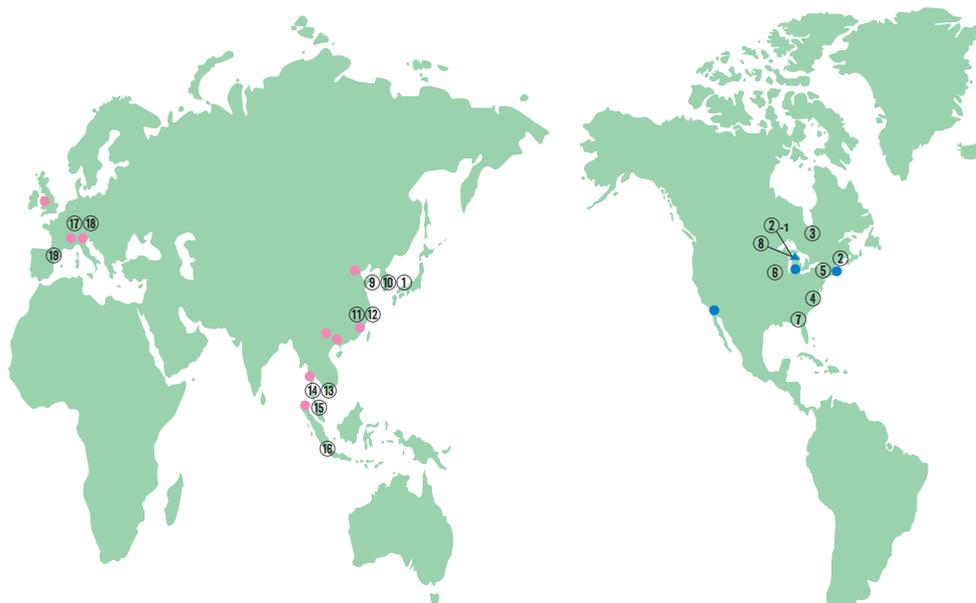


● 細江事業所



● 都田事業所  
● 株式会社環境衛生研究所

アマノグループ



- ① AMANO CORPORATION
  - ② AMANO CINCINNATI, INC. (ACI)
  - ②-1 ACI OHIO FACTORY
  - ② AMANO USA HOLDINGS, INC.
  - ② AMANO USA, INC.
  - ③ AMANO CINCINNATI CANADA, INC.
  - ④ AMANO PIONEER ECLIPSE CORPORATION (APEC)
  - ⑤ AMANO PIONEER CREDIT CORPORATION
  - ⑥ AMANO TIME & PARKING SOLUTIONS OF ST LOUIS, INC.
  - ⑦ AMANO TIME & PARKING SOLUTIONS OF ATLANTA, INC.
  - ⑧ AMANO TIME & PARKING SOLUTIONS OF CINCINNATI, INC.
  - ⑨ AMANO KOREA CORPORATION (AKC)
  - ⑩ @PARK KOREA COMPANY LTD.
  - ⑪ 安満能国際貿易(上海)有限公司(AIT)
  - ⑫ 安満能軟件工程(上海)有限公司(ASE上海)
  - ⑬ AMANO MALAYSIA SDN. BHD.
  - ⑭ AMANO CLEANTECH MALAYSIA SDN. BHD (ACM)
  - ⑮ AMANO TIME&AIR SINGAPORE PTE. LTD(ATAS)
  - ⑯ PT. AMANO INDONESIA (PTAI)
  - ⑰ AMANO ELECTRONICS EUROPE, N.V. (AEE)
  - ⑱ AMANO SOFTWARE ENGINEERING R&D EUROPE, N.V. (ASE EUROPE)
  - ⑲ AMANO TIME & PARKING SPAIN SA
- ACI Branch Offices ▲ ACI Factory  
● Amano Group Branch Offices

高品質・高効率を実現する生産拠点

本社・横浜事業所



神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地  
TEL : 045(401)1441 FAX : 045(439)1120  
●タイム情報ソフトウェア、駐車場機器、  
電解水生成装置 他  
●ISO9001:2000

津久井事業所



神奈川県相模原市津久井町長竹236番3  
TEL : 042(784)7441 FAX : 042(780)7107  
●情報システム機器、電子タイムレコーダ、  
プリント基板、プラスチック成形部品 他  
●ISO9001:2000 / ISO14001:2004

細江事業所



静岡県浜松市北区細江町気賀8123番地  
TEL : 053(522)0951 FAX : 053(527)0002  
●集塵機、集塵装置、掃除機、フロア清掃機、  
脱臭装置 他  
●ISO9001:2000 / ISO14001:2004

都田事業所



静岡県浜松市北区新都田1丁目6番2号  
TEL : 053(484)1051 FAX : 053(484)1081  
●精密金型、切削部品、金型自動交換機 他  
●ISO14001:2004

## 株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。
期末配当金支払基準日	毎年3月31日
中間配当金支払基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三菱UFJ信託銀行 全国各支店
郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
公告掲載新聞	日本経済新聞
決算公告ホームページアドレス	<a href="http://www.amano.co.jp/IR/kessan.html">http://www.amano.co.jp/IR/kessan.html</a>

なお、会社法施行後においては、会社法第440条第4項の規定により、決算公告は行いません。

### お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人の専用フリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。



本社／〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町275番地  
TEL. (045) 401-1441 (代表) FAX. (045) 439-1120

<http://www.amano.co.jp/>

アmanoのホームページでは最近の決算情報やアmanoニュース・製品情報、グループ会社の情報など掲載しています。

